

◇ MR2300 EMI試験システムは様々な製品にお使いいただいています。

今回は電子楽器の開発・製造・販売 並びに輸出入を行っているZ社様の事例を紹介します。(ご要望により社名は伏せております。)
現在では音楽用の電子機器にも高度な回路技術が導入されており、EMIの評価は多方面の分野で必要とされています。

[インタビュー ~*Interview*~]

*Z社 品質保証担当者様との一問一答

Q1) MR2300 EMI試験システムを選定した理由を教えてください。

A1) 想定していた金額より安価であった。御社が設置場所に近いことも要因。

Q2) EMI試験システムをどのような製品でお使いですか？

A2) 一般コンシューマー向けのマイコン内蔵情報技術機器製品

Q3) EMI試験システムをご使用の目的を教えてください。(製品開発、製品検査、品質管理など)

A3) 製品開発において、主に国内外規格適合の確認で使用している。

Q4) ご使用の感想をお聞かせください。

A4) 海外規格に適合しているか外部機関でテストレポートを作成しているが、以前はぶっつけ本番で行っており無駄な出費となることが多々あった。しかし、測定器導入後は社内ですべて測定しながら製品開発を進められるので確実に適合する物を持ち込めるようになり、出費が抑えられるようになった。測定が容易で便利である。

Q5) 測定の際工夫されていることはありますか？

A5) ・設置場所が倉庫のため冷えている時は直ぐに測定するとノイズフロアが高くなるので、十分にエージングを行ってから測定している。
・標準セットのアンテナでは水平が測定出来ないため、追加でバイコンカルアンテナを購入して併用している。
・3m法に合わせた測定器のため、10m法のリミットに合うように社内リミットを別途設定している。

